

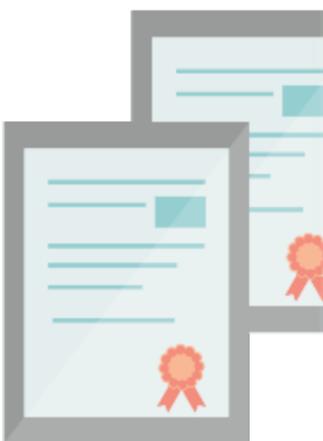
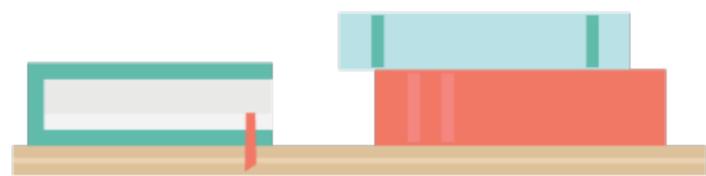
# 人文学部 総合型選抜説明会

総合型選抜における評価方法について

\* 画像・イラストはすべてイメージです。



IN THE LIBRARY



# 目次

- 総合型選抜とは
- 具体的に求める学生像
- 選抜方法の詳細
- Q&Aセッション

# 総合型選抜とは



- ・総合型選抜とは、近年各地の大学で導入が進んでいる入学者を選考する方式の一つであり、受験生の多様な才能や個性を重視します。
- ・この方式では、学力だけでなく、自己表現やコミュニケーション能力、課外活動の実績などが評価の対象になります。
- ・これにより、より広範な視野を持つ学生を選抜することが可能になります。

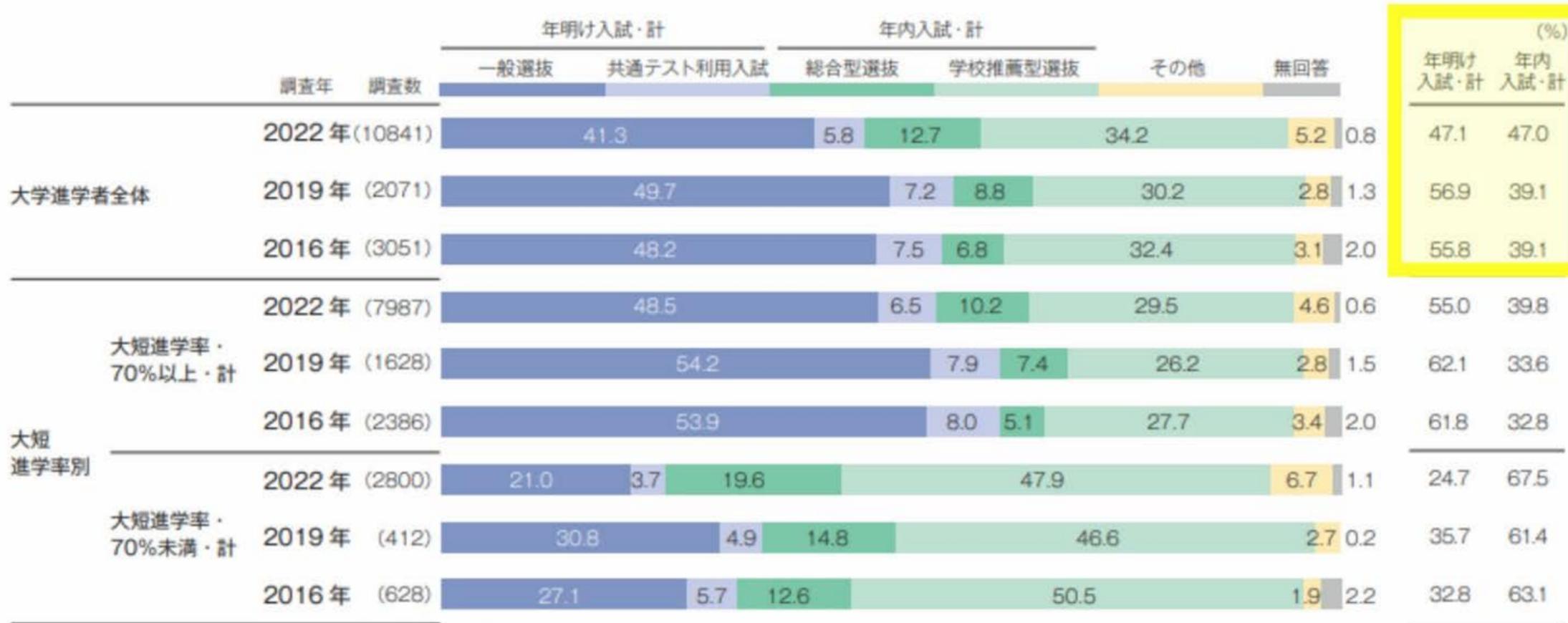
# 選抜基準の比較



- 大学の総合型選抜は、学生の多様な能力や適性を評価する重要なプロセスです。
- 最近、さまざまな大学でこの選抜方法が導入されており、受験生にとって新たな選択肢となっています。

# 選抜基準の比較

図表5 進学する学校に合格した入試方法（単一回答）



※2019/2016年は下記項目を集計  
 「一般選抜」は一般入試、「共通テスト利用入試」はセンター試験利用入試、  
 「総合型選抜」はAO入試、「学校推薦型選抜」は推薦入試（公募）・推薦入試（指定校）・自己推薦入試

「進学センサス2022」より抜粋  
 全国の大学進学を控えた高校3年生への調査

**年内入試による入学者は年々増加  
 総合型選抜での入学者も増加している傾向にある**

# 総合型選抜説明会の趣旨



- ・総合型選抜説明会は、受験生にとって重要な情報を提供する場です。
- ・この説明会では、選抜方法や合格のためのポイントが詳しく説明されます。
- ・参加者は疑問点を解消し、より良い受験準備をすることができます。

# 具体的に求める学生像



- ・ 人文学部でどうしても学びたいという熱意がある学生
- ・ 学力だけでは測れない能力が、人文学部の学びにマッチする学生
- ・ 特定の課題に対して、十分な準備をして臨むことができる学生
- ・ 入学後に演習で積極的に発言し、議論をリードしてくれる可能性のある学生

# 出願書類

(1) 志願票 (願書)

(2) 調査書

(3) 学修計画書



# 選抜方法

## 1次選考（50点満点）

- ①調査書（25点満点）
- ②学修計画書（25点満点）

## 2次選考（100点満点）

### 日本文化学科

- ①日本語運用能力に関する総合問題（50点満点）

### 英米文化学科

- ①CASEC（50点満点）

### 両学科共通

- ②プレゼンテーション（25点満点）
- ③口頭試問（25点満点）



# 学修計画書について



## 1. 自分が学科の求める学生像にふさわしい と考える理由（600字程度）

- ・大学のWEBサイトに掲載されている人文学部の「入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）」をよく読んでください。
- ・その上で、そこに記載されている「求める学生像」に、自分がどのような点で合致しているか、説明してください。

# 学修計画書について

## 2. 入学後に学びたい科目とその理由（600字程度）



- ・まず、大学のWEBサイトに掲載されている「教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）」をよく読んでください。
- ・その上で、「人文学部カリキュラム」に記載されている科目のうち、興味を惹かれたものについて「シラバス検索システム」で検索し、講義要項を確認してください。
- ・調べたなかで特に学びたい科目について、なぜそのように考えたのか、またその科目を履修することでどのような力が身に付きそうか、説明してください。

# 学修計画書について

## 3. 2次選考のプレゼンテーションで選択する書籍のタイトル

- 学修計画書の最後に記載してください。

総合型選抜

ここで学びたいという意欲が合格につながる。  
将来への考えが評価される。

# 学修計画書の評価ポイント



## 1.自分が学科の求める学生像にふさわしいと考える理由

- ・人文学部のアドミッション・ポリシーを理解しているか
- ・高校での経験・活動が踏まえられているか
- ・自分が学科の求める学生像にふさわしいことが説明されているか

## 2.入学後に学びたい科目とその理由

- ・人文学部のカリキュラム・ポリシーおよびカリキュラムを理解しているか
- ・人文学部の専門科目のなかで特に学びたい科目について説明されているか

**志望理由を明確にしましょう！**

# 日本語運用能力に関する 総合問題について

- ・ 現代文と古文の文章を一つずつ読み、論述式、記述式、選択式の設問に60分で解答します。
- ・ 高等学校の国語科目を修得できていれば、対応可能な問題です。
- ・ 文章を正確に読み取る能力が求められます。
- ・ 小論文形式ではありませんが、論述式・記述式の問題も出題されますので、こうした形式に対応できるように準備しておくとい良いでしょう。

# CASECについて



- ・株式会社教育測定研究所が提供しているCASECを利用した英語の2技能試験を実施します。解答時間は60分です。
- ・高等学校の英語科目を修得できていれば、対応可能な問題です。
- ・コンピューターを用いて解答を行いますが、オンライン試験やコンピューター操作に関する特別な知識・技能は必要ありません。
- ・詳しい試験方式は、教育測定研究所のウェブサイトを参照してください。



# プレゼンテーションについて

- ・学修計画書で学びたいと記述した科目に関連する書籍の内容と、それに対する自分の意見についてプレゼンテーションしてください。
- ・プレゼンテーションの持ち時間は**3分**です。
- ・試験当日、書籍本体を持参してください。ただし、試験時に書籍を開くことはできません。
- ・A4用紙片面1枚のレジюмеを持参し、**入室時に試験監督に提出してください。**レジюмеを見ながらプレゼンテーションを行うことはできません。

※プレゼンテーション時のレジюмеの扱いについて、入学者選抜要項の内容が、上記のとおり修正されていますので、ご注意ください。

詳細はこちらをご確認ください

(URL:<https://www.hgu.jp/info/news/20250807-01.html>)。

# プレゼンテーションの 評価方法について



- ・ 人文学部で学びたいという意欲と、書籍の情報を収集・理解し、そこから自分の思考を組み立て表現する能力を評価します。
- ・ 書籍の内容が十分に理解できているか、自分の意見が論理的に述べられているかを採点します。
- ・ パフォーマンスの巧拙で評価するわけではないので、書籍の内容とそれに対する自分の意見をしっかりと伝えることを心がけましょう。

# どのような書籍を選択すべきか



- 学修計画書で特に学びたいと選択した科目に関連する書籍であることが求められます。
- 選択にルールはありませんが、大学の入学試験で取り上げるのにふさわしい書籍かを、自分自身で判断してください。
- 人文学部HPに「人文学を学ぶための100冊」が掲載されていますので、そのリストから選択することもできます。

# レジュメについて

- ・ 試験監督がプレゼンテーションの内容を把握するためのものです。
- ・ 書籍の内容・自分の意見について、要点をまとめてください。
- ・ 読み上げる原稿ではなく、プレゼンテーションする予定の内容について、箇条書きでアウトラインを示してください。

※「人文学部生による読書案内」は、あくまでもレポート例であり、プレゼンテーションの模範例ではありませんのでご注意ください。

# 口頭試問と評価方法について



- 口頭試問の時間の目安は8分です。
- 直前に実施したプレゼンテーションと学修計画書の内容について、試験監督が質問を行います。
- 論理的な応答ができているか、コミュニケーション能力があるかを評価します。
- 話し方は評価の対象とはしません。
- 試験監督の質問と噛み合う回答をしてください。覚えてきたことだけをただ話しているように思われる場合、評価は低くなります。



# Q&Aセッション

ご参加いただきありがとうございますございました。

個別相談会は1階14番教室で開催中！